

令和2年度鳥取県営企業会計  
決算概要説明資料

企 業 局

# 1 電気事業

## (1) 概要

○年間販売電力量は、春米発電所のリニューアル工事後の試運転期間が前年度より約4ヶ月長かったこと等により、前年度比15%増の約14万7千MWhとなった。事業収益は、売電収入の増、春米発電所のコンセッション移行に伴う運営権対価収益等により前年度比1億77百万円増の20億45百万円となった。

○事業費用が減価償却費、人件費（定数見直し：3人減）の減等により前年度比1億11百万円減少したことから、純損益は5億63百万円となった。（前年度純損益2億75百万円、黒字幅は2億88百万円拡大）

## (2) 収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位：百万円)

区分	2年度	元年度	差引	備考																				
<b>① 収益</b>	2,045	1,868	177	<b>【売電電力量及び単価等】</b>																				
営業収益	1,936	1,795	141	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>売電電力量 (MWh)</th> <th>目標達成率 (%)</th> <th>単価 (円/kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水力発電 (12箇所)</td> <td>133,338 (113,615)</td> <td>92.2 (81.0)</td> <td>9.5 (FIT適用以外) ※1</td> </tr> <tr> <td>風力発電 (1箇所)</td> <td>4,318 (4,854)</td> <td>92.0 (103.4)</td> <td>19.08</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電 (8箇所)</td> <td>9,050 (8,846)</td> <td>116.7 (114.0)</td> <td>32~40 ※2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146,706 (127,315)</td> <td>93.4 (86.0)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)	水力発電 (12箇所)	133,338 (113,615)	92.2 (81.0)	9.5 (FIT適用以外) ※1	風力発電 (1箇所)	4,318 (4,854)	92.0 (103.4)	19.08	太陽光発電 (8箇所)	9,050 (8,846)	116.7 (114.0)	32~40 ※2	合計	146,706 (127,315)	93.4 (86.0)	
区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)																					
水力発電 (12箇所)	133,338 (113,615)	92.2 (81.0)	9.5 (FIT適用以外) ※1																					
風力発電 (1箇所)	4,318 (4,854)	92.0 (103.4)	19.08																					
太陽光発電 (8箇所)	9,050 (8,846)	116.7 (114.0)	32~40 ※2																					
合計	146,706 (127,315)	93.4 (86.0)																						
電力料	1,871	1,795	76																					
水力発電電力料	1,465	1,385	80																					
風力発電電力料	82	93	△ 11																					
太陽光発電電力料	324	317	7																					
繰延運営権対価収益	65	0	65																					
営業外収益	109	73	36	発電所運営業務委託料、契約利息の増																				
<b>② 費用</b>	1,482	1,593	△ 111																					
営業費用	1,444	1,530	△ 86																					
水力発電費等	1,162	1,246	△ 84	減価償却費、人件費、固定資産除却費の減																				
風力発電費	86	91	△ 5	修繕費、委託料の減																				
太陽光発電費	196	193	3																					
営業外費用	38	63	△ 25	退職手当金の減																				
<b>当年度純損益(①-②)</b>	563	275	288																					
その他未処分利益剰余金変動額	240	△ 35	275																					
<b>当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)</b>	803	240	563																					

## (3) 資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位：百万円)

区分	2年度	元年度	差引	備考
<b>① 資本的収入</b>	4,468	2,701	1,767	
企業債	0	2,700	△ 2,700	
固定資産売却代金	1	0	1	
繰延運営権対価	4,467	0	4,467	春米発電所にかかる一括金及び令和2年度分割金
雑収入	0	1	△ 1	
<b>② 資本的支出</b>	1,553	3,062	△ 1,509	
建設改良費	1,154	2,558	△ 1,404	
企業債償還金	399	504	△ 105	
<b>差引(①-②)</b>	2,915	△ 361	3,276	

実質資金収支(キャッシュフロー)	4,719	703	4,016	3.4条収支合計に減価償却費等の非資金損益項目等を加減した、実際の現金の増減額
------------------	-------	-----	-------	---

○主な建設改良工事(税抜) 春米発電所リニューアル事業のうち土木工事(3号無圧隧道工区) (338百万円)  
春米発電所リニューアル事業のうち土木工事(根安落石対策ほか工事) (40百万円)  
※金額はR2年度中の支払額

## (4) 借入金の状況

○企業債 (単位：百万円)

前年度未残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
7,901	0	399	7,502

(注) 建設改良費の充当財源として借入

## 2 工業用水道事業

### (1) 概要

○契約水量は、供給再開等の事業者があったことから前年度末比100m<sup>3</sup>/日増の34,300m<sup>3</sup>/日となった。しかしながら、前年度10月からの1社300m<sup>3</sup>/日減による基本料金の減収が通年にわたったほか、超過料金が減少し、また、長期前受金戻入の減等もあり事業収益は前年度比28百万円減の465百万円となった。

○事業費用が減価償却費や企業債利息の減等により、前年度比82百万円減少したことから赤字幅は54百万円縮小したものの、純損益は1億32百万円の赤字となった。

### (2) 収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	2年度	元年度	差 引	備 考																				
<b>① 収 益</b>				<b>【契約給水量及び単価等】</b>																				
	465	493	△ 28	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>契約水量 (m<sup>3</sup>/日)</th> <th>契約 企業数</th> <th>年間給水量 (千m<sup>3</sup>)</th> <th>単価 (円/m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日野川工水</td> <td>28,400 (28,200)</td> <td>84 (83)</td> <td>5,990 (5,945)</td> <td>既設: 20 石州府: 50</td> </tr> <tr> <td>鳥取地区工水</td> <td>5,900 (6,000)</td> <td>13 (13)</td> <td>1,601 (1,781)</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,300 (34,200)</td> <td>97 (96)</td> <td>7,591 (7,726)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	契約 企業数	年間給水量 (千m <sup>3</sup> )	単価 (円/m <sup>3</sup> )	日野川工水	28,400 (28,200)	84 (83)	5,990 (5,945)	既設: 20 石州府: 50	鳥取地区工水	5,900 (6,000)	13 (13)	1,601 (1,781)	45	合計	34,300 (34,200)	97 (96)	7,591 (7,726)	
区分	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)	契約 企業数	年間給水量 (千m <sup>3</sup> )	単価 (円/m <sup>3</sup> )																				
日野川工水	28,400 (28,200)	84 (83)	5,990 (5,945)	既設: 20 石州府: 50																				
鳥取地区工水	5,900 (6,000)	13 (13)	1,601 (1,781)	45																				
合計	34,300 (34,200)	97 (96)	7,591 (7,726)																					
営業収益	356	362	△ 6																					
給水収益	356	362	△ 6	( )内は昨年度実績等、単価は昨年度と同額																				
営業外収益	109	131	△ 22	長期前受金戻入等の減																				
<b>② 費 用</b>	597	679	△ 82																					
営業費用	526	597	△ 71																					
業務費等	210	236	△ 26																					
減価償却費	316	361	△ 45																					
営業外費用	71	82	△ 11	企業債償還利息の減																				
<b>当年度純損益(①-②)</b>	△ 132	△ 186	54																					
前年度繰越欠損金	3,491	3,305	186																					
<b>当年度未処理欠損金</b>	3,623	3,491	132																					

### (3) 資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	2年度	元年度	差 引	備 考
<b>① 資本的収入</b>	492	615	△ 123	
企業債	178	270	△ 92	日野川工業用水の新規整備等に係るもの
出資金	305	313	△ 8	一般会計からの鳥取工水への出資金
国庫補助金	9	32	△ 23	日野川工業用水の設備改良に係るもの
<b>② 資本的支出</b>	604	800	△ 196	
建設改良費	148	293	△ 145	新規給水設備費等
企業債償還金	456	507	△ 51	
<b>差引(①-②)</b>	△ 112	△ 185	73	

実質資金収支(キャッシュフロー)	△ 101	△ 35	△ 66	3.4条収支合計に減価償却費等の非資金損益項目等を加減した、実際の現金の増減額
------------------	-------	------	------	---

○主な建設改良工事(税抜)

日野川工業用水道26号配水支管工事(2工区) (44百万円)  
日野川工業用水道取水ポンプ(No.2)更新工事 (40百万円)

### (4) 借入金等の状況

#### ○企業債

(単位:百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
日野川	1,381	177	151	1,407
鳥取地区	2,843	1	305	2,539
計	4,224	178	456	3,946

(注) 建設改良費の充当財源として借入

#### ○一般会計長期借入金

(単位:百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
日野川	682	0	0	682

(注) 石州府への給水事業に伴う収益的収支の資金不足分を借入(H7年度~H17年度)  
一般会計からの利息免除額 13,810千円(令和2年度分)

#### ○一般会計出資金

(単位:百万円)

	前年度末繰入累計	当年度繰入額	当年度末累計額
鳥取地区	3,755	305	4,060

(注) 企業債の元金償還金相当額について出資金を繰入(H11年度~)

### 3 埋立事業

#### (1)概要

○新規の土地分譲4件（竹内団地（一括払）3件、旗ヶ崎工業団地（割賦払）1件）等があり、事業収益は前年度比1億55百万円増の2億66百万円となった。

○事業費用が新規の土地分譲に伴う土地売却原価の増等により前年度比1億35百万円増加したものの、純損益は95百万円となった。（前年度純損益75百万円、黒字幅は20百万円拡大）

#### (2)収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	2年度	元年度	差 引	備 考
①収 益	266	111	155	
営業収益	259	104	155	
土地売却収益	174	8	166	新規分譲(竹内:3社 旗ヶ崎(割賦):1社)
その他営業収益	85	96	△ 11	長期土地貸付料(竹内:11社 旗ヶ崎:2社)
営業外収益	7	7	0	土地貸付料ほか
②費 用	171	36	135	
営業費用	171	36	135	
土地売却原価	141	5	136	
一般管理費等	30	31	△ 1	
営業外費用	0	0	0	
当年度純損益(①-②)	95	75	20	
前年度繰越欠損金	4,450	4,525	△ 75	
当年度未処理欠損金	4,355	4,450	△ 95	

#### (3)資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	2年度	元年度	差 引	備 考
①資本的収入	0	0	0	
②資本的支出	150	87	63	
建設改良費	0	0	0	
他会計借入金償還金	150	87	63	一般会計長期借入金償還金の増(竹内工業団地分)
利子補給返還金	0	0	0	
差引(①-②)	△ 150	△ 87	△ 63	

実質資金収支(キャッシュフロー)	23	△ 8	31	3.4条収支合計に非資金損益項目等を加減した、実際の現金の増減額
------------------	----	-----	----	----------------------------------

#### (4)借入金の状況

○一般会計長期借入金 (単位:百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度返済額	当年度末残高
竹 内	2,680	0	150	2,530

(注) 土地造成のための借入

#### (5)分譲状況

令和3年3月末現在(単位:ha)

工業団地名	造成面積	売却面積	長期貸付面積	未分譲面積	分譲率
竹 内	128.6	108.6	14.1	5.9	95.4%
旗ヶ崎	41.9	41.4	0.2	0.3	99.3%